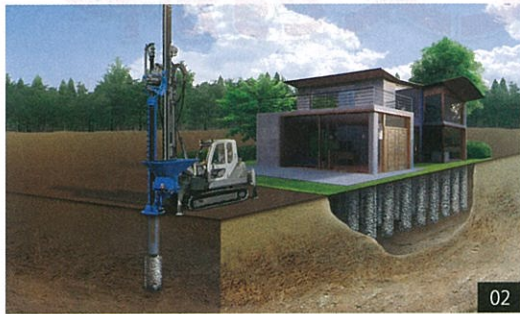


株式会社尾鍋組  
三重県 松阪香肌商工会

## 住宅の碎石地盤改良「エコジオ工法」の普及を目指す 施工代理店が着々と実績



02



04



03



01



05

01/残土が出ないエコジオZERO工法による地盤改良工事。エコジオ工法とあわせて現在、46社54事業所の施工代理店が2万件以上の実績を積んできた 02/エコジオ工法のイメージ 03/碎石。これを柱状にして地中に埋め込む 04/不可能を可能にした尾鍋さんの奮闘の記録『住宅地盤インベーション～地方の土木会社が挑んだ17年の軌跡』。松阪香肌商工会の支援で採択された持続化補助金を活用して、同書の広告・宣伝活動を行う 05/右から尾鍋組の尾鍋さん、ソイルフィールドの営業担当・世古さん、同社社長の辻井さん、同社の設計担当・小林さん

2010年、約6年におよぶ試行錯誤の末、株式会社尾鍋組が三重大学との連携で完成させた碎石地盤改良の新技术「エコジオ工法」。セメント固化材や鉄管を使わず、自然碎石だけを使用する同工法は環境負荷が小さく、地中に人工物を残さないため土地の価値を下げにくいという点が最大のメリットだ。

「当社は従業員十数人の土木会社ですが、先細る公共工事に将来展望が描けず、新事業を模索しているときに出会ったのが、住宅の地盤改良工法でした」と、同社の代表取締役・尾鍋哲也さん。その後開発した“世界初の画期的地盤改良工法”を普及させるため、エコジオ工法協会を設立。自社でも施工見学会などを開催し、施工代理店を募集している。

そんなエコジオ工法に可能性を感じ、6年前に施工代理店になったの

が、株式会社ソイルフィールドだ。代表取締役の辻井孝道さんは、「さまざまな地盤改良法があるなかで、強度と安全性を提供でき、収益も見込める」と参入。もともと建築一式工事業として、住宅建築の際には地盤改良事業者に発注する側だったが、方向転換して同社を新たに設立した。

だが、取引先ゼロからのスタート。最初の1～2年は苦労の連続だった。「従来工法でできていたものに対し、エコジオ工法を使う意味を顧客にどう納得してもらうか。その流れをつくるのがたいへんでしたね」

それでも一度、同工法を採用したビルダーはほとんどがリピーターになるという。それを証明するのが、同社の6年間の実績だ。200社以上と取り引きし、県内約700棟の地盤改良工事を受注。売り上げも倍々に増え、1億7000万円にまでなった。

「私たちも営業面でできる限りの支援はしましたが、ソイルフィールドさん自身の努力でしょう」と尾鍋さん。施工代理店になる場合は、尾鍋組が1年間営業サポートを行い、住宅建築業界のしきたりや常識になじんでもらうようにしている。

「地盤改良分野はまだ世間の関心が低いけれど、それが環境や土地の価値に関わること、そこにビジネスチャンスがあることを知ってほしい」

かつて、商工会青年部で部長経験のある尾鍋さんがアピールする。

○株式会社尾鍋組

TEL:0598-46-0234 FAX:0598-46-1222

三重県松阪市飯高町宮前321-4

○株式会社ソイルフィールド

TEL:0596-65-7345 FAX:0596-65-7346

三重県度会郡玉城町原1704